

# 三勲小だより

令和元年11月8日(金)



## <昼放送での話 「人生は喜ばせっこだ」>

皆さんは「やなせたかし」という人を知っていますか？そうですね。アンパンマンの作者です。アンパンマンは、おなかのすいた人がいれば、飛んでいって自分の顔をちぎって食べさせてあげます。世界にはたくさんのヒーローがいますが、自分の顔を食べさせるヒーローは他にはいないでしょうね。顔をあげたアンパンマンは力を失ってしまいますが、ジャムおじさんが新しい顔を焼いてくれてまた元気を取り戻します。そんなアンパンマンは子どもから大人までたくさんの人に愛されるヒーローになりました。

やなせさんは、若い頃、戦争を経験しました。そして、たくさんの人が亡くなったり戦ったりするのを見て、「自分は何のために生きているのだろう。」と考えるようになりました。「何のために生まれて、何をして生きるのか。答えられないなんてそんなのは嫌だ。」と思うようになったのです。(演奏)これは皆さんも知っているアンパンマンのテーマソングですね。長い時間かけて生きることの意味を考えたやなせさんは「人は皆、人を喜ばせるために生きているのではないか。」ということに気づきました。勉強が好きな人は勉強したことを役立てて、歌が好きな人は歌で、絵が好きな人は絵を描いて、そして優しい言葉や元気の出る言葉をかけたり助けてあげたりして人を喜ばせるのです。その相手の笑顔で自分もまたうれしくなる。どちらも喜ぶことができるのです。

やなせさんは「人生は喜ばせっこ」だと言っています。皆さんは、今日、お家や学校で人を喜ばせましたか。昨日はどうでしたか。人の嫌がることを言ったりしたりすればそれは相手をいじめていることになります。いじめは絶対にしてはいけないことです。人の嫌なことを言ったり痛いことをしたり人の物に勝手に触ったり壊したりすると、された人は本当に悲しくつらい思いをしなくてはなりません。誰も人をそんな気持ちにさせることは許されないのです。そうではなく、人の喜ぶことをして、その人を笑顔にできる本当に優しい人、正義感のある人になれるといいですね。

「何のために生まれて、何をして生きるのか。」やなせさんは「人を喜ばせるために生まれて、人を喜ばせるために生きるのだ。」という答えを見つけたのです。アンパンマンのお話を作ったのも、きっと、たくさんの人を喜ばせるためだったのでしょうね。今、皆さんは学習発表会や音楽の発表会、能の発表会の練習を頑張っていますね。その中でも「喜ばせっこ」はできますよ。頑張っているお友達に「今日はとってもいいね。」と言ったり、上手になるためのアドバイスをしたり、うまくいかないといって悩んでいる時に励ましたりすればきっととても心に残る発表会になると思います。

今日からいろんな時にたくさん「喜ばせっこ」をして、三勲小学校を今よりもっともっとみんななかよしの楽しい学校にしましょう。